

大田桜台 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科 地理歴史 科目 世界史探究 単位数 4 単位

対象学年組 第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者 (1 ～ 5 組 : 岡本玲奈)

使用教科書 (第一学習社『高等学校 世界史探究』)

教科 地理歴史	の目標 :
【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	単元：世界史へのまなざし／諸地域の歴史的特質の形成 【知識及び技能】 ・ 生業、身分・階級、王権、宗教、文化・思想などに関する資料から情報を読み取ったりまとめる技能を身に付けさせる。 ・ オリент諸文明、インダス文明、中国文明などをもとに、古代文明の特質を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 古代文明にかかわる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸資料を比較して読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 古代文明の歴史的特質について、よりよい社会の実現を念頭に課題を主体的に追求し、解決させる。	・ 諸地域の歴史的特質への問い ・ 地球環境から見る人類の歴史 ・ 西アジア・地中海世界の古代文明 ・ インダス文明 ・ 中華文明	【知識・技能】 ・ 生業、身分・階級、王権、宗教、文化・思想などに関する資料から情報を読み取ったりまとめる技能を身に付けている。 ・ オリент諸文明、インダス文明、中国文明などをもとに、古代文明の特質を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 古代文明にかかわる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸資料を比較して読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 古代文明の歴史的特質について、よりよい社会の実現を念頭に課題を主体的に追求し、解決しようとしている。	○	○	○	10
	単元：諸地域の歴史的特質の形成 【知識及び技能】 ・ 西アジアと地中海周辺の諸国家などをもとに、西アジアと地中海周辺の歴史s的特質を理解させる。 ・ キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などをもとに、西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ アテネの民主政治とローマの共和政治の特質を比較し、ローマ帝国の盛衰を地図資料をもとに多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・ ペルシア文化の伝播を中心に東西ユーラシア世界の相互の影響について写真資料から読み解き、考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ バルティアやササン朝が東西文化の交流に果たした役割を主体的に追究させる。 ・ 1 ～ 2 世紀の時代の陸路と海路の交易について、比較しながらその後の発展の様子を主体的に追究させる。	・ 西アジアと地中海周辺の諸国家	【知識・技能】 ・ 西アジアと地中海周辺の諸国家などをもとに、西アジアと地中海周辺の歴史s的特質を理解している。 ・ キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などをもとに、西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ アテネの民主政治とローマの共和政治の特質を比較し、ローマ帝国の盛衰を地図資料をもとに多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ ペルシア文化の伝播を中心に東西ユーラシア世界の相互の影響について写真資料から読み解き、考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ バルティアやササン朝が東西文化の交流に果たした役割を主体的に追究している。 ・ 1 ～ 2 世紀の時代の陸路と海路の交易について、比較しながらその後の発展の様子を主体的に追究している。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1

1 学 期	<p>単元：諸地域の歴史的特質</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などをもとに、歴史的特質を理解させる。 ・仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などをもとに、歴史的特質を理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春秋時代と戦国時代、秦・漢の統一国家、さまざまな遊牧国家などの社会・経済的变化について、諸資料を活用して統治方法や制度を比較しながら多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・東南アジアにおける中国文化やインド文化の流入について、写真資料を活用して多面的に考察させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春秋・戦国時代に生まれた変化のうち、のちのじだいに最も影響を与えたと思われるものは何か、地震の生活や経験をもとに関連付けさせる。 ・秦・前漢・後漢のそれぞれの外交関係の特徴や、中央ユーラシアの諸民族が中国の歴史に与えた影響、東南アジアにおける中国文化とインド文化の影響について、主体的に追究しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・秦・漢と遊牧国家 ・仏教の成立とヒンドゥー教 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などをもとに、歴史的特質を理解している。 ・仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などをもとに、歴史的特質を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春秋時代と戦国時代、秦・漢の統一国家、さまざまな遊牧国家などの社会・経済的变化について、諸資料を活用して統治方法や制度を比較しながら多面的・多角的に考察し、表現している。 ・東南アジアにおける中国文化やインド文化の流入について、写真資料を活用して多面的に考察している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春秋・戦国時代に生まれた変化のうち、のちのじだいに最も影響を与えたと思われるものは何か、地震の生活や経験をもとに関連付けている。 ・秦・前漢・後漢のそれぞれの外交関係の特徴や、中央ユーラシアの諸民族が中国の歴史に与えた影響、東南アジアにおける中国文化とインド文化の影響について、主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	16
	<p>単元：諸地域の交流・再編</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開などをもとに、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解させる。 ・宋の社会とモンゴル帝国の拡大などをもとに、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西アジア社会の動向とイスラームの伝播やヨーロッパ封建社会の実現を視野に課題を主体的に追究し解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察させる。 ・イスラーム世界の影響や十字軍運動について資料を活用しながら主体的に評価し、表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビザンツ帝国や中世ローマ教会の発展の要因について制度や地理的要因を踏まえて主体的に追究させる。 ・イスラームが短期間で勢力を大きく広げることにについて、資料を活用し主体的に追究させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・唐と近隣諸国の動向 ・キリスト教とイスラームを基盤とした国家の形成 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開などをもとに、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 ・宋の社会とモンゴル帝国の拡大などをもとに、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西アジア社会の動向とイスラームの伝播やヨーロッパ封建社会の実現を視野に課題を主体的に追究し解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察している。 ・イスラーム世界の影響や十字軍運動について資料を活用しながら主体的に評価し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビザンツ帝国や中世ローマ教会の発展の要因について制度や地理的要因を踏まえて主体的に追究しようとしている。 ・イスラームが短期間で勢力を大きく広げることにについて、資料を活用し主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1

<p>単元：諸地域の交流・再編</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解させる。 ・宋の社会とモンゴル帝国の拡大などをもとに、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西アジア社会の動向とイスラームの伝播やヨーロッパ封建社会とその展開について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究し解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を深める。 ・イスラーム世界の影響や十字軍運動について資料を活用しながら主体的に評価させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビザンツ帝国や中世ローマ教会の発展の要因について制度や地理的要因を踏まえて主体的に追究させる。 ・イスラームが短期間で勢力を大きく広げることについて、資料を活用し主体的に追究させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播 ・ヨーロッパ封建社会とその展開 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 ・宋の社会とモンゴル帝国の拡大などをもとに、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西アジア社会の動向とイスラームの伝播やヨーロッパ封建社会とその展開について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究し解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を深めている。 ・イスラーム世界の影響や十字軍運動について資料を活用しながら主体的に評価している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビザンツ帝国や中世ローマ教会の発展の要因について制度や地理的要因を踏まえて主体的に追究しようとしている。 ・イスラームが短期間で勢力を大きく広げることについて、資料を活用し主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	16
<p>単元：諸地域の交流・再編</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解させる。 ・西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明・清と周辺諸地域の交易とヨーロッパの進出について主に物流や文化の伝播に着目し、諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、スペインとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、東アジアやイスラーム世界諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倭寇や周辺勢力の動きに注目し、明の対外政策の変遷を年表にまとめ、転機になった出来事について主体的に追究する。 ・大航海時代においてポルトガルとスペイン、オランダが海域アジアに築いた拠点の特徴とそこに築かれた理由について、主体的に追究する。 ・オスマン帝国でさまざまな民族や宗教が共存できた理由とインドの文化にイスラーム文化が与えた影響や東南アジア諸国の発展に宗教が果たした役割について、主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宋の社会とモンゴル帝国の拡大 ・15～16世紀のアジア海域での交易の興隆 ・明と東アジアの動向 ・スペインとポルトガルの活動 ・西アジアや南アジアの諸帝国 ・清と東アジアの動向 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。 ・西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明・清と周辺諸地域の交易とヨーロッパの進出について主に物流や文化の伝播に着目し、諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、スペインとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、東アジアやイスラーム世界諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倭寇や周辺勢力の動きに注目し、明の対外政策の変遷を年表にまとめ、転機になった出来事について主体的に追究しようとしている。 ・大航海時代においてポルトガルとスペイン、オランダが海域アジアに築いた拠点の特徴とそこに築かれた理由について、主体的に追究しようとしている。 ・オスマン帝国でさまざまな民族や宗教が共存できた理由とインドの文化にイスラーム文化が与えた影響や東南アジア諸国の発展に宗教が果たした役割について、主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	16
<p>定期考査</p>			○	○		1

<p>単元：・ヨーロッパ封建社会とその展開／諸地域の結合・変容</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none">・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解させる。・産業革命と環大西洋革命などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解させる。・自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none">・ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、宗教改革の意義、大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現させる。・大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、産業革命や環大西洋革命、自由主義とナショナリズムの特徴や南北アメリカ大陸の変容などの意味や意義などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none">・産業革命において世界史上の転換点として考えられるものについて、さまざまな技術革新、資本主義と社会主義の関係、国際関係の再編などを踏まえながらアメリカの独立が独立革命といわれる背景をふまえ、アメリカ独立革命が残した意義と課題を主体的に追究させる。・国民国家と近代民主主義社会の形成について、自由主義・ナショナリズム・社会主義を比較しながら国家統合の功罪について配慮する視点をもってよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究させる。	<ul style="list-style-type: none">・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争・大西洋三角貿易の展開・産業革命と環大西洋革命・自由主義とナショナリズム・南北戦争の展開・イギリスを中心とした自由貿易体制・国際的な分業体制と労働力の移動・アジア諸国の植民地化と諸改革・第2次産業革命と帝国主義諸国の抗争・アジア諸国の変革	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none">・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。・産業革命と環大西洋革命などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。・自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none">・ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、宗教改革の意義、大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。・大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、産業革命や環大西洋革命、自由主義とナショナリズムの特徴や南北アメリカ大陸の変容などの意味や意義などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none">・産業革命において世界史上の転換点として考えられるものについて、さまざまな技術革新、資本主義と社会主義の関係、国際関係の再編などを踏まえながらアメリカの独立が独立革命といわれる背景をふまえ、アメリカ独立革命が残した意義と課題を主体的に追究しようとしている。・国民国家と近代民主主義社会の形成について、自由主義・ナショナリズム・社会主義を比較しながら国家統合の功罪について配慮する視点をもってよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
---	--	--	---	---	---	----

<p>単元：諸地域の結合・変容</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどをもとに、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解させる。 ・世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などをもとに、国際関係の緊張と対立を構造的に理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・世界恐慌と国際協調体制の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・列強による植民地化がインド、東南アジア諸国にどのような経済構造の変化をもたらしたのかについて、現在における人種問題と比較しながら考えて追究させる。 ・アヘン戦争以降清が滅亡に向かうまでの転換点を複数挙げ、それぞれどのような意義があるのかについて主体的に考察させる。 ・第一次世界大戦が従来までの戦争に関してやアジア諸民族に対して宗主国がとった対応を比較し、共通点と相違点を主体的に追究させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ＝ワシントン体制の成立 ・アメリカ合衆国の台頭 ・アジア・アフリカの動向とナショナリズム ・世界恐慌と国際経済体制の変容 ・ヴェルサイユ＝ワシントン体制の動揺 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 ・世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に、国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・世界恐慌と国際協調体制の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・列強による植民地化がインド、東南アジア諸国にどのような経済構造の変化をもたらしたのかについて、現在における人種問題と比較しながら考えて追究しようとしている。 ・アヘン戦争以降清が滅亡に向かうまでの転換点を複数挙げ、それぞれどのような意義があるのかについて主体的に考察している。 ・第一次世界大戦が従来までの戦争に関してやアジア諸民族に対して宗主国がとった対応を比較し、共通点と相違点を主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	15
定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>単元：諸地域の結合・変容／地球社会の課題</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどをもとに、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解させる。 ・集団安全保障と冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き、平和共存と多極化の進展、冷戦の終結と地域紛争の頻発などをもとに、紛争解決の取組と課題を理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、写真や地図などの諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、各国の憲法や国際的な宣言などの諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、国際連盟と国際連合との共通点と相違点、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、社会改革がもたらす影響などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦間期における国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容、戦後の冷戦や経済的問題について、各国の立場に立って戦争を回避するなどのよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 ・紛争解決の取組と課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序 ・冷戦とアジア諸国の独立のはじまり ・アジア・アフリカ諸国の独立と新興独立国の結束 ・先進国の経済成長と南北問題 ・集団安全保障と冷戦の展開 ・平和共存と多極化の進展 ・アメリカ合衆国の覇権の動揺 ・アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題 ・冷戦の終結と地域紛争の頻発 ・経済のグローバル化 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどをもとに、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 ・集団安全保障と冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き、平和共存と多極化の進展、冷戦の終結と地域紛争の頻発などをもとに、紛争解決の取組と課題を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、写真や地図などの諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、各国の憲法や国際的な宣言などの諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、国際連盟と国際連合との共通点と相違点、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、社会改革がもたらす影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦間期における国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容、戦後の冷戦や経済的問題について、各国の立場に立って戦争を回避するなどのよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。 ・紛争解決の取組と課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めようとしている。 	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							合計
							140